

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	0403	健康づくり推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	1	健康づくりの支援			
目的	健康づくり計画や事業の協議、保健推進委員の資質向上、献血事業の推進を図ることを目的とする。					
対象	市民、保健推進委員、健康づくり推進協議会委員、献血推進協議会					
意図	健康づくり事業の効果的实施のため、健康はなまき21プランの推進を図る。保健推進委員の健康づくり意識を向上させることにより、市全域の意識啓発に繋げる。献血事業を安定的に推進する。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>◆健康づくり協議会：委員とともに協議することにより、事業展開に市民の意見を反映できる。</p> <p>◆保健推進事業：保健推進委員に対し、各種研修会を行うことにより、健康づくりの牽引役である保健推進委員自らの「健康づくり意識」が向上し、地域の意識啓発につながる。</p> <p>◆安定した医療確保に向けた血液供給を目的とする献血事業の遂行のため、献血推進協議会に補助する。</p>						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	<input type="radio"/> 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛	<input type="radio"/> 補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	保健推進委員の事業協力回数	回	計画	334	380	
			実績	380	362	
②	献血実施日数	日	計画	66	64	
			実績	69	67	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	保健推進事業への協力者数	人	目標	1,830	1,850	
			実績	1,595	1,756	
②	献血本数	本	目標	4,752	4,928	
			実績	4,818	4,558	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 ①各種研修等の工夫により、保健推進委員が意識向上し、市事業への協力に加え、健診の受診勧奨等の自主的な活動の増加を推察し設定。 ②安定した医療確保に向けた血液供給を目的とする事業主旨から設定。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	健康づくりの推進を目指した事業であり、市が市民の健康づくり意識の向上のために実施することは妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	研修会や資料の吟味・工夫により、効果的な意識向上につながる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	健康づくり推進協議会委員は、市の審議会ガイドラインにさだめる委員報酬と同額。保健推進委員報酬は、平成18年合併時協議により統一化。献血推進事業補助金は、平成26年度に削減。現状ではいずれも削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	健康づくり推進協議会・保健推進事業は、市全体の健康づくりの推進、献血推進は、安定した医療確保といずれも市民全体を対象としており適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
◆健康づくり推進協議会：各団体の代表者からの有識者の意見と、市民代表の双方からの意見を反映させる場として有効である。		
◆保健推進事業：自らの健康づくり意識を向上させ、地域の意識向上に繋げていくという効果波及は、健康づくりの牽引役という目的を果たしている。		
◆献血推進事業：恒常的な血液供給により安定した医療確保に繋げるという目的を果たしている。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	04	01	02	0403	健康づくり推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			3,671		3,671
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		3,671		3,671

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

健康づくりへの支援と地域医療を充実し健康づくりを推進します。

事業開始の背景・経緯

◆健康づくり推進協議会：健康はなまき21プランの策定と事業推進の協議を目的に平成14年から設置。

◆保健推進委員：昭和48年頃から各市町で設置、2年毎に区長推薦者に市長が委嘱。

事業概要

◆健康づくり協議会：委員とともに協議することにより、事業展開に市民の意見を反映できる。

◆保健推進事業：保健推進委員に対し、各種研修会を行うことにより、健康づくりの牽引役である保健推進委員自らの「健康づくり意識」が向上し、地域の意識啓発につながる。

◆安定した医療確保に向けた血液供給を目的とする献血事業の遂行のため、献血推進協議会に補助する。

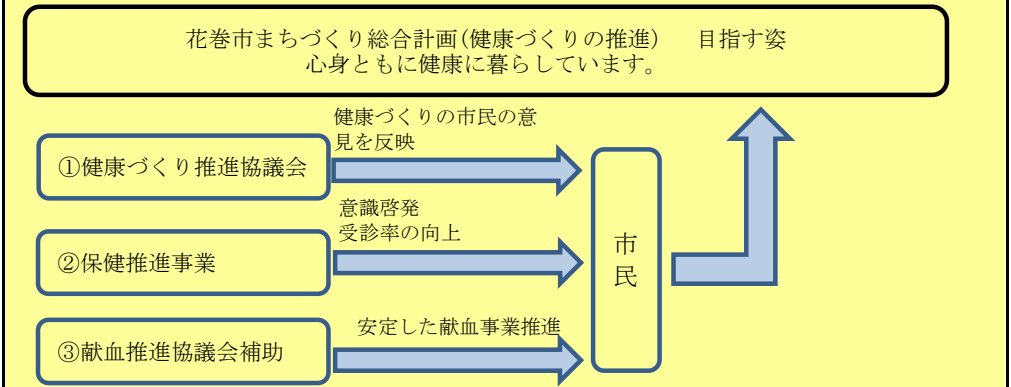
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

各事業の推進にあたり、効率化・効果的な実施を図るため、協議のうえ進めている。特に、保健推進事業については、保健推進委員の健康づくり意識の向上により市全体の意識向上に繋がるよう、精査に努める必要がある。

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 久保田和子 内線 390

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 1 健康づくり推進協議会関係 H25 56千円 → H26 61千円 (+5)
各年度毎に、関係機関、各団体の代表者及び一般公募の委員の参加のもと、健康づくり事業全般や、健康はなまき21プランの進捗状況等について協議を実施。
- 2 保健推進事業関係 H25 2,989千円 → H26 2,960千円 (-29)
2年毎に区長からの推薦者（全行政区）に対し市長が委嘱。
平成26年度は改選年度（委嘱期間：平成26年4月～平成28年3月）であり、各種研修会に加え委嘱状交付式を実施。
- 3 献血推進協議会補助金 H25 700千円 → H26 650千円 (-50)
献血思想の普及に努めるとともに献血事業の推進を図る。